

2017専修大学カップ
神奈川県学童軟式野球選手権大会

実施要項



神奈川県野球連盟
学童部
専修大学



2017 専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会

主 催 神 奈 川 県 野 球 連 盟
専 修 大 学
主 管 神 奈 川 県 少 年 野 球 連 盟 学 童 部

1. 開催期間 平成29年8月4日(金)～8月10日(木)
2. 大会会場 横浜スタジアム・境川遊水地公園少年球場・相模三川公園グランド
神明台スポーツ広場・バッティングパレス相石スタジアムひらつか
3. 出場チーム 県行政区分割代表(県下各地区代表 54チーム)
4. 出場資格 各支部大会での優勝チームもしくは支部長の推薦、
または本部の推薦を受けたチーム
5. 大会規定 (公財)全日本軟式野球連盟発行の競技者必携にもとづく
6. 大会参加費 1チーム ¥12,000と選手登録書2通を主将会議に持参のこと
7. 主将会議 7月16日(日) 於、かながわ労働プラザ 午後5時
(横浜市中区寿町1-4 TEL 045-633-6110)
出場チームは成人1名・主将1名【ユニホーム着用】で出席
8. 開 会 式 8月4日(金) 午前9時より 於、横浜スタジアム
9. 試 合 8月5日(土)・6日(日)・7日(月)・予備8日(火)
10. 閉 会 式 8月10日(木) 午前9時から準決勝・決勝・閉会式
於、バッティングパレス相石スタジアムひらつか
予備日 8月11日(金)
11. 主 催 神奈川県野球連盟・学校法人専修大学
12. 後 援 神奈川県・神奈川県教育委員会・tvk(テレビ神奈川)・神奈川新聞社
横浜DeNAベイスターズ・横浜野球友の会
13. 協 力 ナガセケンコー株式会社・株式会社共同写真企画
14. 問い合わせ 神奈川県野球連盟各支部・学童部事務局
TEL 045-334-3509(今村方)・携帯090-2651-0767

大会役員

大会会長	専修大学長	佐々木 重人
大会副会長	神奈川県野球連盟 会長	山口 宏
〃	神奈川県少年野球連盟 学童部 会長	鈴木 一誠
〃	神奈川県野球連盟 副会長	松野 峻
〃	神奈川県野球連盟 副会長	潮田 智信
〃	神奈川県野球連盟 副会長	和田 勝利
〃	神奈川県野球連盟 副会長	浅野 敏明
大会委員長	神奈川県野球連盟 理事長	小林 三郎
大会副委員長	神奈川県野球連盟 副理事長	中島 久敏
〃	神奈川県野球連盟 副理事長	丸山 隆
大会運営委員長	(学)専修大学 常務理事	小野 博良
大会事務局長	専修大学理事長室 次長	石垣 敦
大会事務局	専修大学理事長室広報課 課長	七島 慎一
〃	専修大学理事長室広報課 掛長	宇都宮 千秋
(総括)	神奈川県少年野球連盟 学童部 理事長	今村 勝也
(総務・進行)	神奈川県少年野球連盟 学童部 育成委員長	坂井 克之
大会審判委員長	神奈川県野球連盟 審判部長	工藤 勉
大会審判副委員長	神奈川県少年野球連盟 学童部 競技運営参与	北見 保久
大会審判長	神奈川県少年野球連盟 学童部 競技運営委員長	伊藤 修治
大会副審判長	神奈川県少年野球連盟 学童部 競技運営副委員長	毛塚 友通
〃	〃	勝亦 博之
〃	〃	若林 英伸
〃	〃	田谷 巖
〃	〃	内村 澄弘

◎地区割り 県下を次の通り地区分割し、54代表を選出する。(2、3)以外は1チーム

- | | | | |
|---------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 旭区 | 14. 中区 | 27. 綾瀬市 | 40. 南足柄市 |
| 2. 青葉区 | 15. 西区 | 28. 伊勢原市 | 41. 大和市 |
| 3. 磯子区 | 16. 保土ヶ谷区 | 29. 海老名市 | 42. 横須賀市(2) |
| 4. 泉区 | 17. 緑区 | 30. 小田原市 | 43. 愛甲郡 |
| 5. 神奈川区 | 18. 南区 | 31. 鎌倉市 | 44. 足柄上郡 |
| 6. 金沢区 | 19. 麻生区 | 32. 相模原市(3) | 45. 足柄下郡 |
| 7. 港南区 | 20. 川崎区 | 33. 座間市 | 46. 高座郡寒川町 |
| 8. 港北区 | 21. 幸区 | 34. 逗子市 | 47. 中郡二宮町 |
| 9. 瀬谷区 | 22. 高津区 | 35. 茅ヶ崎市(2) | 48. 中郡大磯町 |
| 10. 鶴見区 | 23. 多摩区 | 36. 秦野市 | |
| 11. 都筑区 | 24. 中原区 | 37. 平塚市(2) | |
| 12. 戸塚区 | 25. 宮前区 | 38. 藤沢市(2) | |
| 13. 栄区 | 26. 厚木市 | 39. 三浦市 | |

□地区大会 当該地区で決定

本大会 7月16日(日) かながわ労働プラザで行われる主将会議で決定
(横浜市中区寿町1-4 TEL 045-633-6110)



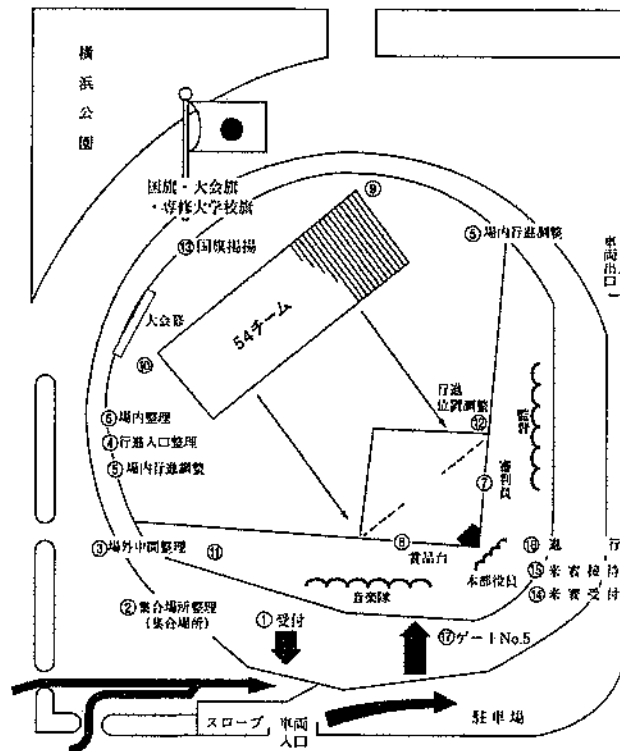
開会式次第

8月4日(金) 於 横浜スタジアム

- 8:00 役員・運営委員集合・受付スタンバイ
- 8:35 受付開始
- 8:45 選手集合・場内準備
- 9:00 選手外野へ集合・整列(縦列)
- 9:10 演奏開始
ヨコハマロビンズ
- 9:30 選手行進(停止ラインまで)
大会宣言 神奈川県野球連盟学童部 理事長
国旗、連盟旗掲揚
優勝旗返還 専修大学長
大会会長挨拶 専修大学長
大会委員長挨拶 神奈川県野球連盟会長
大会審判委員長訓示 神奈川県野球連盟審判部長
選手宣誓 抽選番号12を引いたチームのキャプテン
参加賞授与 (学)専修大学常務理事
報告事項
応援演技 専修大学チアリーダー部
専修大学附属高等学校チアリーダーディング部
- 10:30 選手退場
- 10:35 ①のチームよりグラウンドに入り記念撮影
- 12:00 後始末をして全員退場

■開会式配置

横浜スタジアム見取図



開会式配置

配置番号	担 当	役 員	氏 名
1	チーム受付	競 技 委 員	
2	集合場所整理	競 技 委 員	
3	場外中間整理	競 技 委 員	
4	行進入口整理 (行進先導)	競 技 委 員	
5	場内行進調整	競 技 委 員	
6	場内整理	競 技 委 員	
7	場内整理	競 技 委 員	
8	場内整理	競 技 委 員	
9	場内整理	競 技 委 員	
10	場内整理	競 技 委 員	
11	場内整理	競 技 委 員	
12	行進停止位置整理	競 技 委 員	
13	国旗掲揚	競 技 委 員	
14	来賓受付	常 任 理 事	
15	来賓接待	競 技 委 員	
16	進行	育 成 委 員 長	
17	ゲート (スタンド入口)	競 技 委 員	
18	救護係	参加全チームの監督・コーチ	
19	連絡		
20			

注：当日の服装、ブルーの半袖シャツ・グレーのズボン・連盟帽・原則として白い靴

2017 専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会

日程表 神奈川県少年野球連盟学童部

月	日	曜	球	場	名	第1 9:00	第2 10:40	第3 12:20	第4 14:00
8	4	金	横	浜	スタジアム	開会式			
〃	5	土	境川遊水地公園	少年球場	A	1	2	3	4
〃	〃	〃	境川遊水地公園	少年球場	B	5	6	7	8
〃	〃	〃	相	模	三川公園	B1	10	11	12
〃	〃	〃	相	模	三川公園	B2	14	15	16
〃	〃	〃	神	明	台スポーツ広場	A	18	19	
〃	〃	〃	神	明	台スポーツ広場	B	21	22	
〃	6	日	境川遊水地公園	少年球場	A	23	24	25	26
〃	〃	〃	境川遊水地公園	少年球場	B	27	28	29	30
〃	〃	〃	相	模	三川公園	B1	32	33	34
〃	〃	〃	相	模	三川公園	B2	36	37	38
〃	7	月	境川遊水地公園	少年球場	A	39	40	47	
〃	〃	〃	境川遊水地公園	少年球場	B	41	42	48	
〃	〃	〃	相	模	三川公園	B1	44	49	
〃	〃	〃	相	模	三川公園	B2	46	50	
〃	8	火	境川遊水地公園	少年球場	A・B	予備日			
〃	10	木	パッティングパレス相石スタジアムひらつか			51	52	53	閉会式
〃	11	金				予備日			

閉会式次第

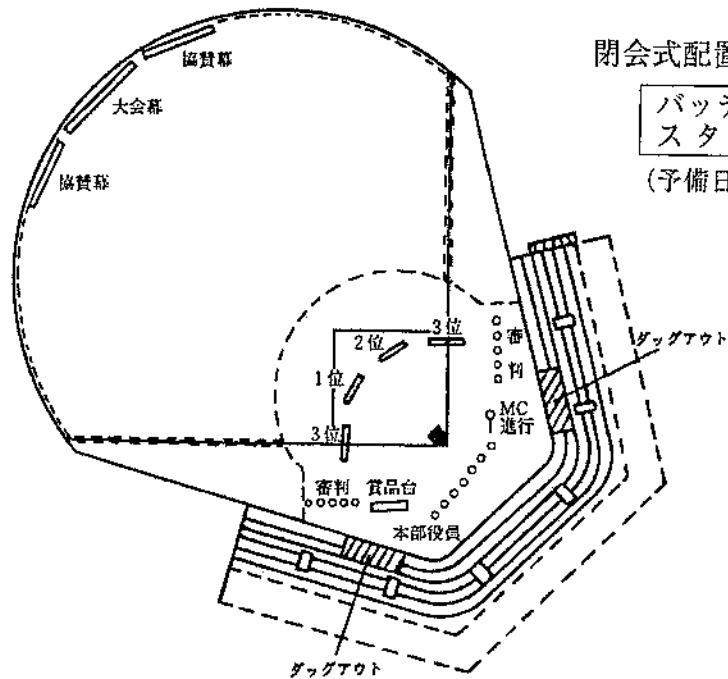
8月10日(木) 於 バッティングパレス相石スタジアムひらつか
(予備日 8月11日(金))

1. 役員 整 列
2. 選手 入 場
3. 成績 発 表
4. 表 彰

優勝チーム	準優勝チーム	三位チーム (同率2チーム)
優勝旗	準優勝カップ	三位 盾
優勝カップ	準優勝盾	賞 状
優勝盾	賞 状	
賞 状		

個人賞 優秀選手賞及び敢闘賞 (県野球連盟、県野球連盟学童部)

5. メダル授与
6. 大会会長挨拶
7. 大会委員長挨拶
8. 閉会宣言
9. 選手退場
10. 役員退場
11. 後始末をして全員退場



閉会式配置

バッティングパレス相石
スタジアムひらつか
(予備日 8月11日(金))

大会規定

大会運営に関する事項

学童部の大会は、野球公認規則、競技者必携および大会特別規則を適用します。

1. 参加資格

(1) 小学生で編成され登録された単独チームとします。

(注) 大会だけのために編成されたチームの参加は認めません。

(2) 選手の登録は10名以上20名以内とし、男女を問いません。

2. 会議は、監督主将会議とする。

監督主将会議には、監督とユニフォーム着用の主将が出席すること。

① 監督主将会議で、抽選会を行います。

② 会議で決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させてください。

3. 大会特別規則

(1) 試合は7回戦とし、試合開始の「プレイ」宣告後、1時間30分を経過したらそのイニングが最終回となります。

(注) 決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となります。

(2) タイブレイク方式（特別延長戦）

7回を終了して同点の場合、決められた時間が経過して同点の場合はタイブレイクで行います。

タイブレイク方式は、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者をそれぞれ二塁、三塁の走者（投手は除いてもよい）とし、無死満塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとします。

勝敗が決定しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返します。なお勝敗が決定しないときは、抽選で勝敗を決定します。

(注) 大会の運営上7回が終了するか、決められた時間が経過して同点の場合は、タイブレイク方式を行わず、抽選で勝敗を決定する場合があります。

(抽選) 抽選は○×式とし、○印の多いチームの勝ちとします。

(3) 得点差によるコールドゲーム

点差によるコールドゲームは、3回10点差、5回7点差とします。

(4) 特別継続試合

試合が5回以前に中止になった場合（ノーゲーム）でも、5回が過ぎて同点で試合が中止になった場合（正式試合でタイゲーム）でも、再試合にしないで翌日又は後日特別継続試合として試合が中止になったイニングから試合を継続して行います。

なお、特別継続試合は、中断された試合と通算して1時間30分まで行います。

(5) 投手の投球制限

投手の投球については、肘、肩の障害防止を考慮し、一日7イニングスまでとします。

但し、タイブレイク方式の直前のイニングスを投げ切った投手に限り一日最大9イニングまで投げるができます。

(注) 投球イニングに端数が生じたときの取り扱いは三分の一回（アウト一つ）未満であっても一イニング投球したものとして数えます。

大会規定

競技運営に関する事項

1. その日の第1試合は試合開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時まで打順表4通（登録された全員を記入し、必ずふりがなを付けたもの）を監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立合いのもとに攻守を決定すること。
(注) 前の試合が早く終了した場合は、次の試合を試合開始予定時刻前に開始することがありますので、試合開始予定時刻30分前には球場に到着して前の試合の経過に注意してください。
2. ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを一塁側とする。
 - (1) 試合中ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番・コーチ29番・28番及び選手20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラーとします。
(注) 選手は、必ず10名以上ベンチに入らなければならない。
なお、ベンチに入れる全員が、スポーツ傷害保険に加入し、大会期間中に起きた傷害事故等は、当該スポーツ保険の適用を受けること。
また、健康保険の被保険者名と番号の控えを持ってきてください。
 - (2) ベンチ内で電子機器類（携帯電話、パソコン等）、携帯マイクの使用を禁止する。
なお、ベンチ内でメガホン一個に限り使用ができます。
3. 使用球と用具・装具
 - (1) 大会使用球は（公財）全日本軟式野球連盟公認ナガセケンコーボールのC号ボールとし、大会本部で準備します。
 - (2) チームはユニフォーム、アンダーシャツ等は、同色、同形、同意匠の物を使用すること。スパイクについては、金具の付いたスパイクは使用できません。尚、裾幅の広いストレートタイプのユニフォームは、監督、コーチも含めて着用は禁止します。
 - (3) ユニフォームの袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字又は、ローマ字による県名を必ず付けなければなりません。
尚、他のものを付けることはできません。
 - (4) バット
金属製バット・ハイコンバットは、JSBBのマークの付いた公認バットを使用すること。
 - (5) 捕手の装具
捕手は、連盟公認のマスク・ヘルメット・プロテクター・レガーズを使用すること。また、危険防止のためファールカップも必ず装着すること。
 - (6) 打者、次打者、走者、ベースコーチも連盟公認のイヤーフラップ付きのヘルメットを着帽すること。
4. シートノック行う場合は5分間を限度とします、シートノックの時、補助員としてコーチ（背番号28、29）も認めます。
ただし、大会運営上シートノックを行わず試合を開始することもあります。

大会規定

5. 球場内での練習は外野に限り行うことを認めます（フリーバッティングは厳禁です。）
6. 小雨の場合でも、球場の使用が可能な場合は試合を行うことがあります。
7. 雨天時の連絡先
学童部事務局(今村) 045-334-3509 携帯 090-2651-0767
学童部審判長(伊藤) 045-713-9611 携帯 090-4725-6265
学童部育成参与(坂井) 046-223-2507 携帯 090-4664-0535

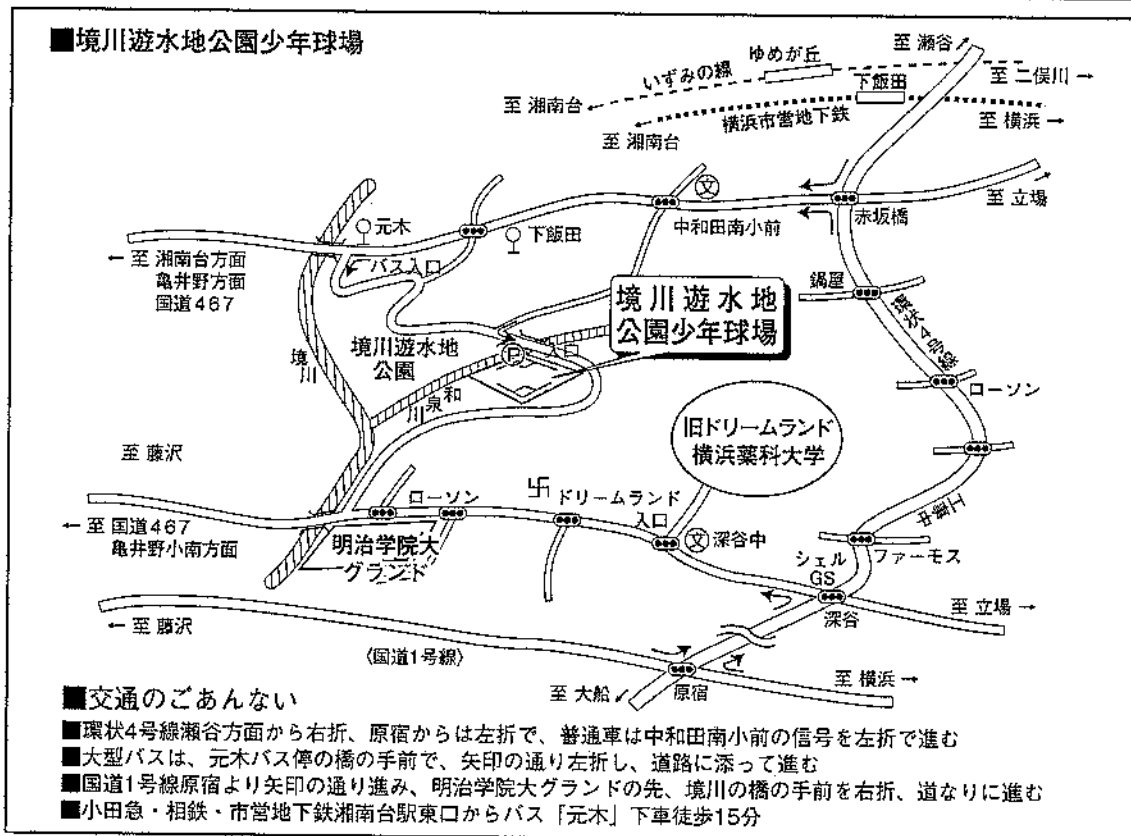
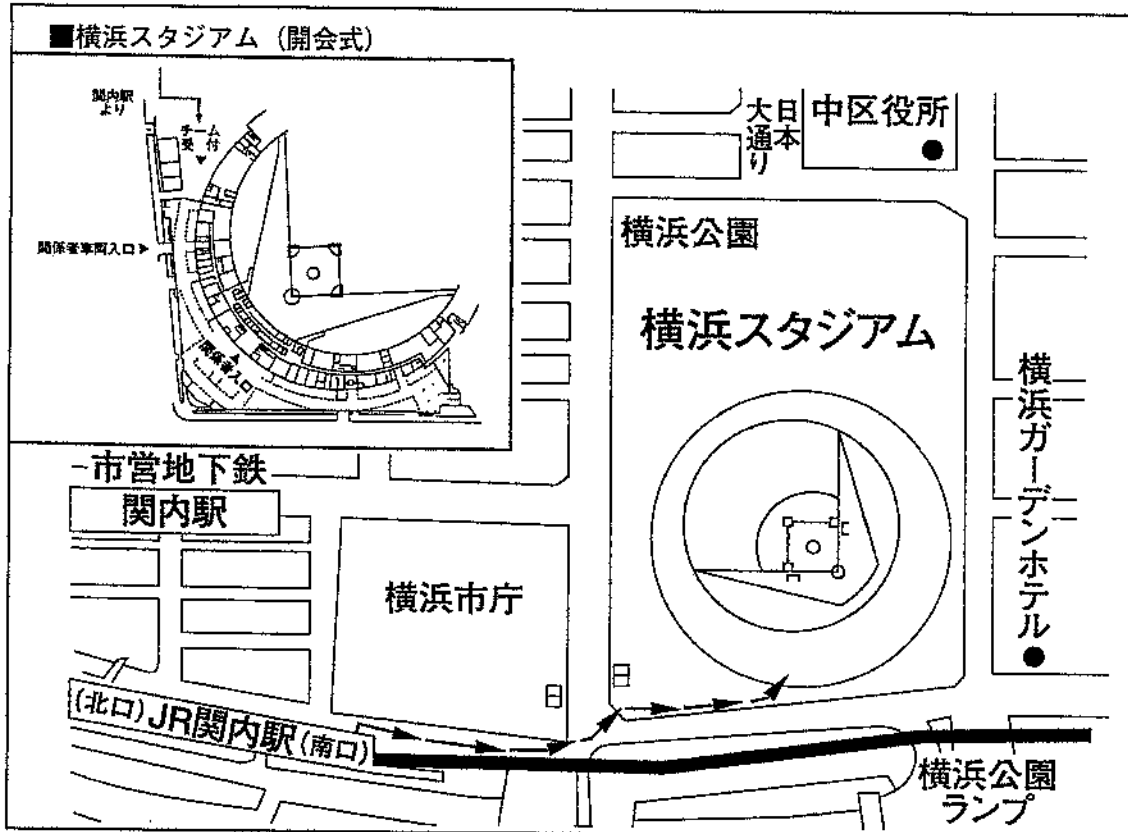
連盟取り決め事項

1. ファウルボールの処理について
ファウルボールが打たれた場合は、一塁側の一塁側ベンチが、三塁側のものは三塁側ベンチが、本塁後方のものは攻撃側で処理してください。
2. 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。
3. 試合のスピードアップについて
 - (1) 準備投球について
投手の準備投球は、試合開始の表裏及び救援時には投手は捕手を相手に5球（時間にすれば1分以内）とし、次回からは3球とします。
 - (2) 攻守交代について
攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレーヤーは速やかにベンチを離れて駆け足で守備に向かうこと。特にバッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチから出ること。
 - (3) 守備側のタイムの回数制限について
捕手を含む内野手が、1試合に投手のところへ行ける回数は、7イニング試合にあっては3回以内とします。
尚、延長戦となった場合は、2イニングに1回行くことができます。
投手のところへ行くときは、往復を駆け足で行いプレイの開始を遅らせてはなりません。
 - (4) 攻撃側のタイムの回数制限について
攻撃側のタイムは、1試合に3回とします。なお、延長戦（特別延長戦も含む）は、2イニングスに1回とします。
 - (5) 内野手間の転送球について
内野手間の転送球は、一回りとし、打者が打者席で打撃姿勢を取る前までに投手に返球するようにしてください。
- (注) 試合が著しく遅れている場合は、試合の進行を早めるため内野手間の転送球を禁止する場合があります。

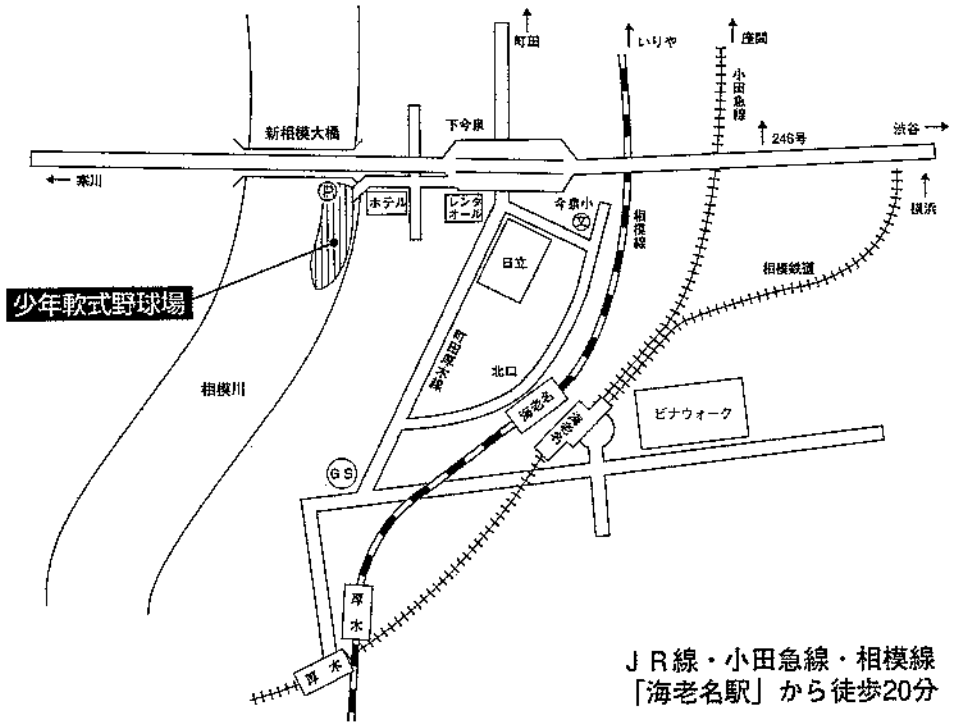
大会規定

- (6) 内野手の投手への返球について。
投手に返球する内野手は守備位置を離れずに投げ渡してください。
 - (7) 投手の投球間隔について
投手は、捕手のサインを見るときは、必ず投手板について見ることを厳重に実施すること。
 - (8) 投手の塁への送球について
離塁していない塁への送球は遅延行為でボークになります。また無用と思われる塁への送球が度を過ぎると審判員が判断したら、反則行為とみなされます。
 - (9) 捕手について
投球を受けた捕手は、その場から速やかに投手に返球すること。
 - (10) 打者について
打者は、速やかに打者席に入って打撃姿勢をとること。また、打者席内でサインを見ること。
次打者は、次打者席で低い姿勢で待機すること。投手も必ず実行すること。
 - (11) 走者について
ファールボールが打たれたときは、速やかに戻って、元の塁に触れること。
 - (12) 内野手について
内野手が投手の所へ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレイの開始を遅らせてはなりません。
 - (13) ベンチについて
ベンチから無用とおもわれるサインを送ることは許されません。
 - (14) その他の事項については、全日本軟式野球連盟発行の競技者必携、少年野球に関する事項を読んでください。
4. その他（記念写真の撮影について）
チーム集合写真等は「共同写真企画」が試合開始前に撮影します。
後日、同社から見本がチームに送付されますので、それを見た上で申し込んでください。

会場一覧



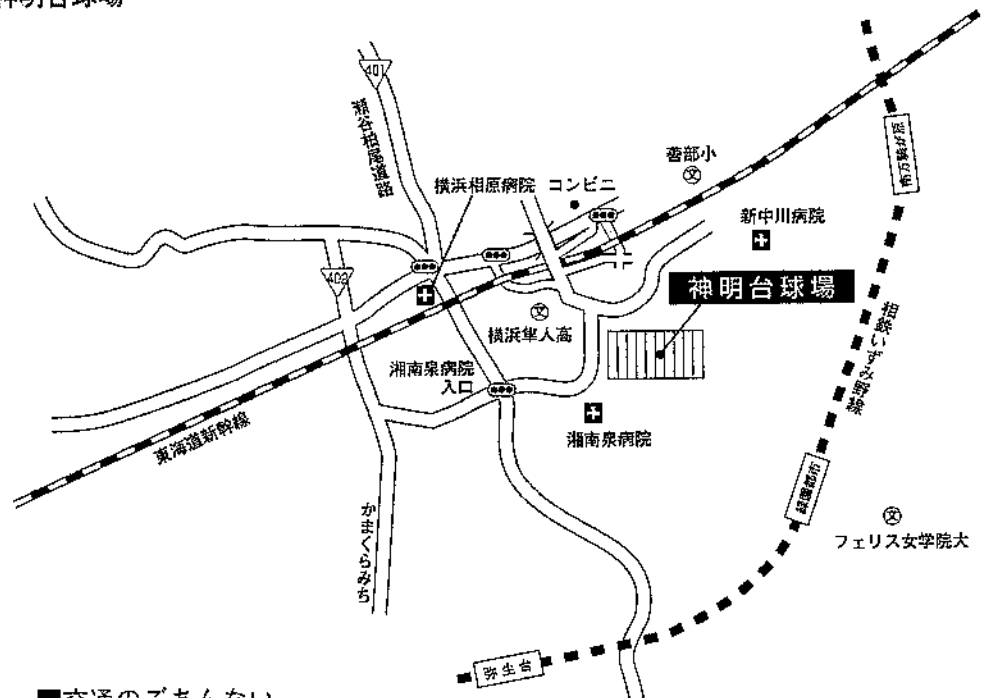
■相模三川公園
(旧：海老名市上郷スポーツ広場)



少年軟式野球場

JR線・小田急線・相模線
「海老名駅」から徒歩20分

■神明台球場

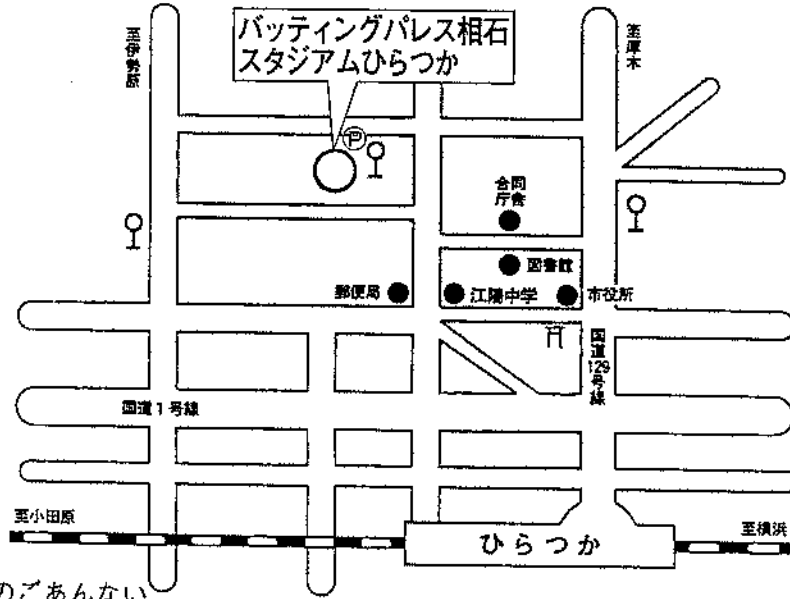


神明台球場

■交通のごあんない

■相鉄いずみ野線「緑園都市駅」または「弥生台駅」から徒歩30分

■バッティングパレス相石スタジアムひらつか



■交通のご案内

■JR：「平塚駅」下車（徒歩20分）

バス：平塚駅北口10番線乗車（所要時間8分）
「平塚球場」下車

バス：平塚駅北口1番線乗車（所要時間10分）
「共済病院・総合公園西」下車

■小田急：「伊勢原駅」下車

バス：南口1・2番線「平塚行」乗車（所要時間20分）
「共済病院・総合公園西」下車

